

# インバウンドの受入れ再開・需要回復 に向けた取り組みと現状

---

2023年1月18日

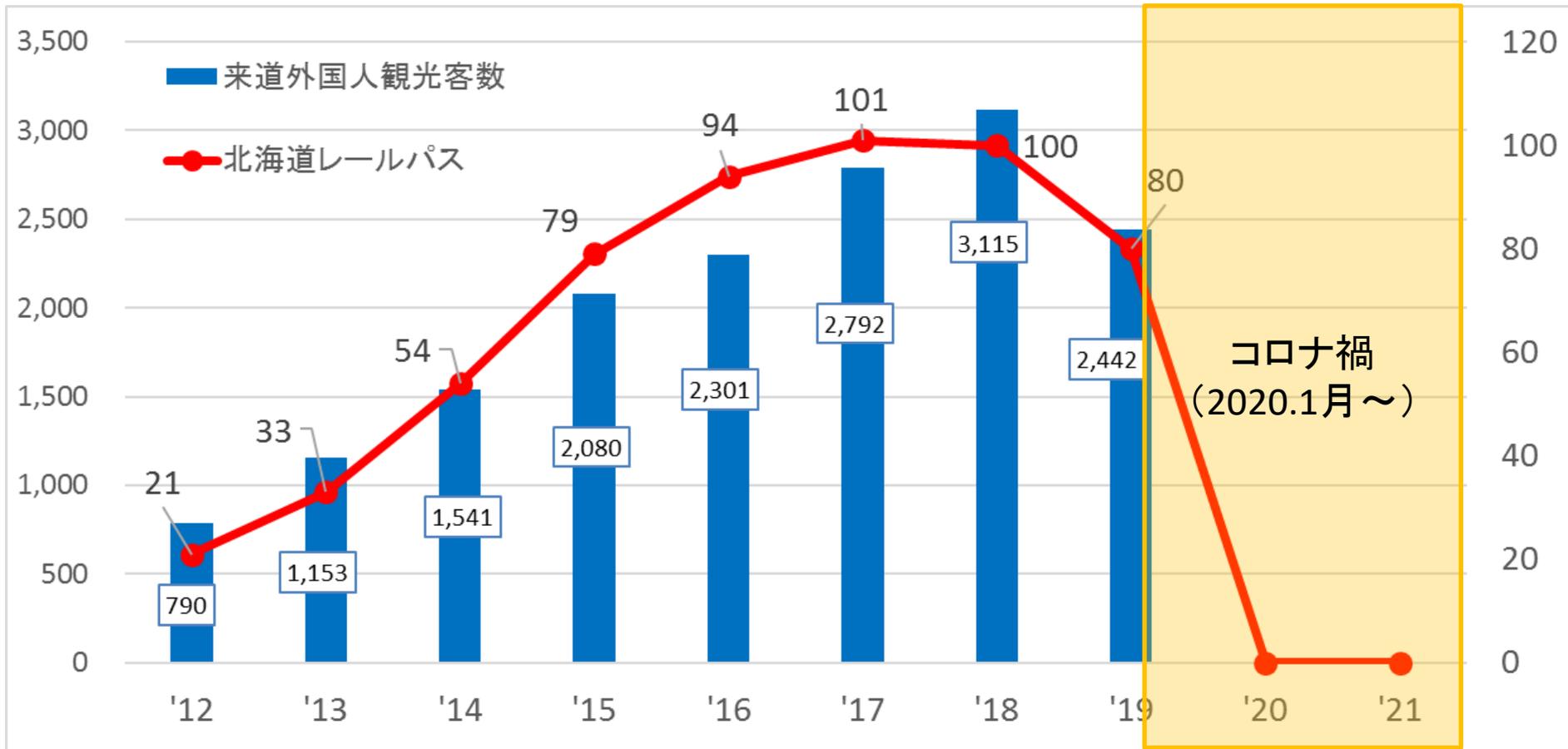


北海道旅客鉄道株式会社  
HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

# 1. 北海道レールパスの発売実績推移（'21年度はエリアパス含む）

（単位：千人）

（単位：千枚）



北海道レールパスのご利用は、来道外国人観光客の増加に比例して増加し、2017年度がピーク。2019年度以降はコロナ禍により、皆無の状況が2020年度-2021年度と続いた

## 2. 水際対策緩和と道内空港国際線再開の動き

【道内空港の国際線再開状況（2023.1月現在）：7路線19社】

水際対策緩和措置	4/10 4/10									
	4～6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水際対策緩和措置	4/10 入国後隔離期間3日間に短縮（条件付） 4/10 低リスク国からの入国がリカチ3回接種済で待機免除 6/1 入国者数上限緩和（20,000人/日） 6/1 各国を低リスク順に青・黄・赤に分類 6/10 添乗員同行パッケージツアーの受入再開 9/7 乗員なしパッケージツアーの受入再開 10/11 水際対策大幅緩和（FIT再開、ビザ免除など） 10/30 国際線ウインタースケジュール 12月 運航再開多数 1/21～27 春節休暇 2/4～11 雪まつり 2月中旬～ 流氷									
2022年度	4～6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【新千歳空港運航再開一覧】										
韓国 (仁川線)		7/17～8/14 大韓航空（コロナ禍後、最初の国際線就航）					11/3～ティウエイ航空		1/4～アジアナ航空	
(釜山線)			8/4～18 アシアナ航空（チャーター）		10/30～チェジュ航空		12/1～ジンエアー 11/30～エアブサン 12/24～ジンエアー	1/3～エアソウル		
台湾			8/26～チャイナエアライン		10/16～タイガーエア 10/28～スターラックス航空		12/1～エバー航空			
香港						11/4～香港航空	12/1～キャセイ航空			
シンガポール						11/1～スクート				
タイ							12/2～タイ国際航空 12/1～タイエアアジアX			
マレーシア							12/1～エアアジアX 1/3/パティックエアマレーシア			

**当社では、6月の水際対策緩和を機に、2022年度中のインバウンドの受入再開・需要回復を想定、第2四半期以降、前広に具体的な取り組みを展開。**

### 3. 訪日外国人向けきっぷ(レールパス)について

#### (1)「札幌－富良野エリアパス」「札幌－登別エリアパス」の新設(2021.4.1～)

商品名称	「札幌－登別エリアパス」 Sapporo-Noboribetsu Area Pass	「札幌－富良野エリアパス」 Sapporo-Furano Area Pass
価格	(海外) 8,000円 (国内) 8,500円 ※こども半額	(海外) 9,000円 (国内) 9,500円 ※こども半額
日数	4日間	4日間
席種	自由席 (指定席利用は運賃部分のみ有効)	自由席 (指定席利用は運賃部分のみ有効)
エリア		



#### (2)現在のレールパスのラインナップ(道内分)

商品名称	「札幌－登別エリアパス」 Sapporo-Noboribetsu Area Pass	「札幌－富良野エリアパス」 Sapporo-Furano Area Pass	「北海道レールパス」5日間 HOKKAIDO RAIL PASS	「北海道レールパス」7日間 HOKKAIDO RAIL PASS
価格	(海外) 8,000円 (国内) 8,500円 ※こども半額	(海外) 9,000円 (国内) 9,500円 ※こども半額	(海外) 19,000円 (国内) 20,000円 ※こども半額	(海外) 25,000円 (国内) 26,000円 ※こども半額
日数	4日間	4日間	5日間	7日間
席種	自由席 (指定席利用は運賃部分のみ有効)	自由席 (指定席利用は運賃部分のみ有効)	指定席	指定席
エリア				

詳細は、プレスリリース「訪日外国人のお客様向けフリーパスがさらに便利になります」(2021.2.17)参照。

[https://www.jrhokkaido.co.jp/CM/Info/press/pdf/20210217\\_K0\\_Inbound.pdf](https://www.jrhokkaido.co.jp/CM/Info/press/pdf/20210217_K0_Inbound.pdf)

# 4. インバウンドの受入れ再開・需要回復を見据えた主なプロモーション

～2022年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月 韓国メディア・インフルエンサー招請</li> <li>・8月 台北国際観光博覧会 (小樽からライブ中継によるPR)</li> <li>・9月 JNTO トラベルマート (東京) (海外旅行会社33社との商談会)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月 台湾セールス (旅行会社等) (現地)</li> <li>・11月 韓国SNSメディア招請&amp;OTA露出</li> <li>・11月 タイ インフルエンサー招請・OTA露出</li> <li>・12月 台湾B to Cセミナー (現地)</li> <li>・11月 台湾向けデジタルプロモーション (釧路・帯広・網走市連携WEBアンケート実施)</li> <li>・10月 JNTOシンガポールイベントで厚岸からのライブ中継・鉄道旅サイトへコンテンツ提供</li> </ul>			<p>&lt;海外現地開催旅行博 出展&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 タイFITフェア (現地) (JR6社共同ブース)</li> <li>・2月 シンガポールJapan Travel Fair (現地)</li> <li>・3月 マレーシア MATTA Fair (現地)</li> </ul> <p>&lt;招請事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月 マレーシア インフルエンサー招請事業 (運輸局事業/JTB 受託) への参画</li> <li>・2月 鉄道活性化協議会タイ インフルエンサー招請事業 (共同実施)</li> </ul>			
JR6社共同による「鉄道旅」をテーマにしたInstagram投稿キャンペーン(第1弾:4月下旬～8月末、第2弾:11月～3月)									
「札幌-富良野エリアパス」「札幌-登別エリアパス」購入者を対象にしたキャンペーン(SNS投稿者への特典プレゼントなど)(3月末まで)									

## (1) 主な招請事業

① 韓国メディア(新聞、雑誌)、インフルエンサーの招請事業を実施(2022.7.31～2022.8.3)  
「札幌-富良野エリアパス」を利用、韓国でも人気の富良野・美瑛を中心に、鉄道旅の魅力を発信



<韓国KTX(韓国高速鉄道)車内誌掲載>

② タイのインフルエンサー(在日タイ人、フェイスブックフォロワー28万人)の招請事業を実施(2022.11.14～2022.11.17)

「札幌-富良野エリアパス」を利用した小樽・旭川・美瑛などを取材。SNS、旅行会社HPで取材記事露出&キャンペーン



# 4. インバウンドの受入れ再開・需要回復を見据えた主なプロモーション

## (2) 主なデジタルプロモーション

①「2022台北国際観光博覧会」のステージイベントへの参加 (2022.8.19)

「札幌-富良野エリアパス」「札幌-登別エリアパス」のPRを、小樽運河周辺からのオンラインライブ中継で実施。



(上)オンラインライブの様子 (下)HPの6社キャンペーンのバナー

②JR6社合同のデジタルプロモーション実施  
(第1弾:2022.4.28~2022.8.31)  
(第2弾:2022.11.1~2023.3.31)

インバウンドの受入れ再開、需要回復を見据えて、JR6社合同でインスタグラム投稿キャンペーンを実施。



③道東3市(釧路市・帯広市・網走市)連携台湾向けデジタルプロモーションの実施  
(2022.11.1~2023.2.28)

鉄道を利用した道東エリアの旅を選んでもらうため当社Facebookファンページ「Real北海道」でのWebアンケート&キャンペーンを実施



# 4. インバウンドの受入れ再開・需要回復を見据えた主なプロモーション

## (3) 海外現地でのプロモーション・セールス

### ① 台湾の旅行会社・航空会社等へのセールス実施(2022.10.18~20)

日本(10/11~)、台湾(10/13~)の水際対策の大幅緩和・制限撤廃直後にインバウンドの本格的な受入再開に合わせて台湾現地セールスを実施。

### ② 台湾でのB to C(一般消費者向け)セミナー開催(2022.12.10)

春節~雪まつり~来年度上期の需要回復に向けて、北海道の鉄道旅や観光素材などをPR。

来場者数367名(定員200名会場×2回開催)

### ③ 海外現地旅行博への出展

<タイ> JNTO タイ・バンコクFITフェア(1/27~29)

<シンガポール> JNTO Japan Travel Fair (2/24~26)

<マレーシア> マレーシア旅行博 JNTOブースへの出展(3/17~19)

JNTO: 日本政府観光局の略称



<台湾大手旅行会社(東南旅行社、五福旅行社、Cola tour 康福旅行社)、チャイナエアラインなどを訪問、セールス>



<セミナーの様子>

# 5. 水際対策緩和(10/11)以降のインバウンドの回復状況

## (1) 2022年度の北海道レールパス(エリアパス含む)の実績

(単位：百枚)

		4-9月	10月	11月	12月
道内完結 レールパス計	2022年度実績	8	3	20	<b>92</b>
	2019年度比	2.4%	5.0%	33.5%	69.1%

### <9月までの利用者>

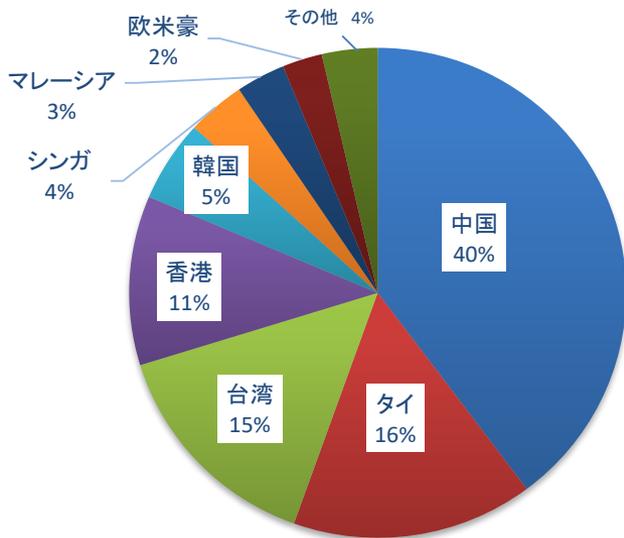
- ・在留外国人
- ・限定的な水際対策緩和による訪日外国人

### <10月以降の利用者>

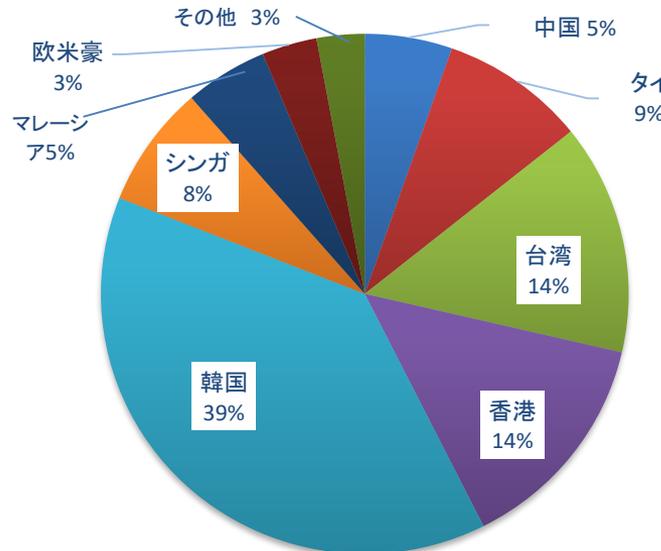
- ・水際対策の大幅緩和(**個人旅行客(FIT)の受入再開**)や**査証(ビザ)免除措置**による需要回復
- ・国際線の回復に伴いレールパスも回復傾向。

## (2) 2022年度の北海道レールパス(エリアパス含む)の国別実績

### <2019年度国別シェア>



### <2022年度10-12月国別シェア>



### ○道内空港国際線の就航便数(1月初時点)

	2022年度(A) 便数(週)	2019年度(B) 便数(週)	(A)/(B) (%)
【新千歳空港】			
中国	0	70	0%
台湾	24	33	73%
香港	8	23	35%
韓国	60	35	171%
タイ	11	22	50%
シンガポール	7	6	117%
マレーシア	7	4	175%
その他	0	3	0%
欧州	0	2	0%
米国(ハワイ)	0	3	0%
オーストラリア	0	3	0%
ロシア	0	8	0%
【函館空港】台湾	0	12	0.0%
【旭川空港】台湾	0	2	0.0%
合計	117	226	51.8%

7  
 ・1月のキャセイ航空(7→5便)、香港航空(7→3便) 減便含む  
 ・道庁航空課へのヒアリング等をもとに独自に集計

# 5. 水際対策緩和(10/11)以降のインバウンドの回復状況

## (3) 外国人専用JRインフォメーションデスク来店者数(札幌駅、新千歳空港駅)

(単位: 百人)

札幌駅インフォメーションデスク  
(2022.12.28)

新千歳空港駅インフォメーションデスク  
(2022.12.11)

	4-9月	10月	11月	12月
札幌駅	9	7	17	56
対2019年度	2.7%	14.7%	37.8%	49.8%
新千歳空港	15	7	34	120
対2019年度	3.0%	9.0%	41.7%	78.3%



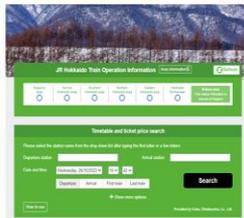
札幌駅インフォメーションデスクは、現在、新幹線駅工事のため仮店舗で営業。1/24から元の「食と観光」情報館内で再営業。

# 6. インバウンドの再開に合わせた受入れ環境整備

## (1) 翻訳・多言語案内ツールの整備

10月30日(日) 以降の国際線ウインタースケジュールに合わせて、コロナ前と同水準の体制に戻しています。

【お客様】



【運賃・時刻検索システム】  
経費削減のため運用を停止していた「グローバルサイト運賃・時刻検索システム」を11月から再開しています。

【社員】



【ポケットの再配備】  
11月中にコロナ前と同じ水準で各駅にポケットを設置完了しています(61箇所)

【社員】



【i-Pad多言語音声案内アプリリリース】  
具体的な遅れ時分や運休情報がリアルタイムで案内可能。インバウンドのお客様へのサービス強化、操作性も向上。12/26にリリース(リリース)しています。

## (2) 通訳案内ガイドの再手配

登別駅・倶知安駅でインバウンドのお客様の利用が急増。地元観光協会と連携して通訳案内ガイドを再配置(1月下旬~3月実施)。



<登別駅(2022.12.16)>



<倶知安駅(2022.12.22)>